

Concise Explanation of:

'Japanese Patent Laid-Open No. H11-102401'

This patent application disclosed an information service system and a record medium recorded with information service program that are aimed to enable a communication terminal user to know a game progress, as necessary by providing a constitution where the betting data are compared with the game progress data and this comparison result is shown in response to the game process, when a user of a communication terminal device forecasts and bets money on the outcome of a game via an information processing center device.

To achieve the above-mentioned object, in the system disclosed in this application, a data sending/receiving part of a communication controller 20 sends home page data to an individual for service allowing him to make forecast and bet money on the outcomes of plural soccer games to be played after several days, via an information processing center device 10 that is connected to a communication terminal device via a communication network such as an internet, etc. Meanwhile, the data sending/receiving part receives the betting data from the users and also receives the game progress data of each place after the game has started. The data comparison part of an arithmetic processor 21 compares the betting data on the users with the game process data, and a display data production part shows the comparison result according to a home page format. Then the electronic mail sending part of the controller 20 sends the comparison result through an electronic mail.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-102401

(43)公開日 平成11年(1999)4月13日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 6 F 19/00
13/00
識別記号
3 5 5

F I
G 0 6 F 15/28
13/00
A
3 5 5

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平9-261521

(22)出願日 平成9年(1997)9月26日

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 安永 敦子

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

(72)発明者 船迫 宜宏

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

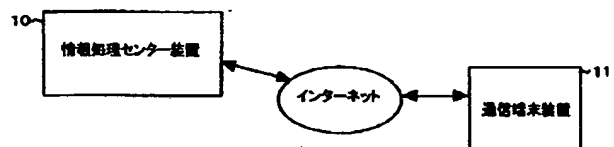
(74)代理人 弁理士 梅田 勝

(54)【発明の名称】 情報サービスシステムおよび情報サービスプログラムを記録した記録媒体

(57)【要約】

【課題】 ギャンブル或いはくじ、懸賞応募として、スポーツなどの競技の勝敗を予想して投票するサービスシステムにおいて、リアルタイムに自動で自分の投票した内容と競技やレースの経過の照合を行い、利用者に告知する情報サービスシステムを提供する。

【解決手段】 通信端末装置と、該通信端末装置と少なくとも1つの通信手段により接続された情報処理センター装置とを具備し、前記通信端末装置の利用者が、前記情報処理センター装置に競技の勝敗の予想を投票する投票手段と、競技経過に応じて投票データと競技経過データを少なくとも1つの方法により比較する比較手段と、通信端末利用者が前記競技経過を好きなときに得ることができる出力表示手段を有することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信端末装置と、該通信端末装置と少なくとも 1 つの通信手段により接続された情報処理センター装置とを具備し、前記通信端末装置の利用者が、前記情報処理センター装置に競技の勝敗の予想を投票する投票手段と、競技経過に応じて投票データと競技経過データを少なくとも 1 つの方法により比較する比較手段と、通信端末利用者が前記競技経過を好きなときに得ることができる出力表示手段を有することを特徴とする情報サービスシステム。

【請求項 2】 情報処理センター装置で、投票手段による投票データと競技経過データとを比較手段により比較照合し、ホームページにより通信端末の出力表示手段に表示するか、または、情報処理センター装置で、投票手段による投票データと競技経過データとを比較手段により比較照合し、電子メールにより通信端末の出力表示手段に表示するか、または、データ放送による競技経過データを、通信端末の比較手段により投票手段による投票データと比較照合し、出力表示手段に表示するか、の少なくとも 1 つの比較手段を選択して、競技経過の出力表示を得ることを特徴とする請求項 1 記載の情報サービスシステム。

【請求項 3】 請求項 1 記載の情報サービスシステムにおいて、前記情報処理センター装置側に、通信端末装置からの投票データおよび／または競技経過データを送受信するデータ送受信手段と、前記投票データを記憶する記憶手段と、競技経過データを記憶する記憶手段と、投票データと競技経過データとを比較照合するデータ比較手段と、該比較照合した結果を出力表示させるための出力表示データ作成手段と、前記出力表示データを記憶する記憶手段と、該出力表示データを通信端末に送信するためのメール送信手段とを具備し、前記通信端末装置側に、投票データを入力するデータ入力手段と、前記投票データおよび／または競技経過データを前記情報処理センター装置と送受信するデータ送受信手段と、前記情報処理センター装置から送信された出力表示データをメールにて受信するメール受信手段と、前記出力表示データを出力表示する出力表示手段とを具備することを特徴とする情報サービスシステム。

【請求項 4】 請求項 3 記載の情報処理センター装置側の出力表示データ作成手段および音の入力手段を具備し、絵、文字、音を用いて視覚的、聴覚的に出力表示し、通信端末装置側の出力表示手段は、絵、文字の再生および音の再生手段を具備したことを特徴とする情報サービスシステム。

【請求項 5】 請求項 1 記載の情報サービスシステムにおいて、前記情報処理センター装置側に、通信端末装置からの投票データおよび／または競技経過データを送受

信端末からの投票データを受信するための出力表示データ作成手段と、該出力表示データを記憶する記憶手段と、前記出力表示データを通信端末に送信するためのメール送信手段とを具備し、前記通信端末装置側に、投票データを入力するデータ入力手段と、前記投票データおよび／または競技経過データを前記情報処理センター装置と送受信するデータ送受信手段と、前記情報処理センター装置から送信された投票データをメールにて受信するメール受信手段と、前記投票データを記憶する記憶手段と、競技経過データを記憶する記憶手段と、投票データと競技経過データとを比較照合する比較手段と、前記出力表示データを出力表示する出力表示手段とを具備することを特徴とする情報サービスシステム。

【請求項 6】 請求項 5 記載の通信端末装置側の出力表示手段は、絵、文字の再生および音の再生手段を具備し、絵、文字、音を用いて視覚的、聴覚的に出力表示することを特徴とする情報サービスシステム。

【請求項 7】 情報サービスシステムを実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、競技の勝敗の予想を投票すると、競技経過に応じて投票データと競技経過データを比較手段し、通信端末利用者が前記競技経過を好きなときに表示として得ることができるような処理を実行させることを特徴とする情報サービスプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明はスポーツなどの競技の勝敗を予想して投票することができるインターネットホームページ等を用いるオンライン情報サービスシステムおよび情報サービスプログラムを記録した記録媒体に関し、詳しくは、競技の最中に情報サービス利用者が競技の勝敗予想の当たり状況の経過を確認できる情報サービスシステムおよび情報サービスプログラムを記録した記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】現在、在宅しながらのスポーツの勝敗を予想して投票するサービスシステムが存在する。例えば、競馬の在宅投票システムでは、パソコンとモデムを使用して、自宅にしながら JRA が開催する日本全国の競馬を楽しむことができる。即ち、在宅投票システムの端末装置は、パソコンやテレビ受像機等により、映像や文字放送番組を受信して表示し、例えば、競馬レースのオッズ（配当率）を確認し、リモコン装置からのキー入力操作により、電話回線を介して在宅投票を行っている。このシステムでは、レースの結果が最終的に出てから、自分の投票した内容が的中したかどうかを確認するためには、テレビ画面を見たり、ラジオを聞いて自分の

か等の方法を用いている。

【0003】しかしながら、上記システムでは、リアルタイムに状況の変化するレースの最中に、自分の投票した内容とレースの経過を自動で照合し利用者がリアルタイムに状況把握するという手段を有していないため、これを解決する手段として、例えば、特開平7-230511号公報に開示されるように、個人用のページングサービスシステムを利用し、本人がどこに居ても、投票内容に当たりがあれば、自分が投票したレースの最終結果を、自分が投票した内容をメモ等に頼る事なく、いち早く知ることができるようにしたシステムも提案されている。

【0004】また、インターネットなどの通信回線を利用したショッピングシステムにおいては、httpにおけるホームページ上で自分が購入希望品を記入し、送信したデータは、通常自分の端末内に記録されないという問題があるため、利用者がホームページ上で購入した内容を、ショッピングの運営者側から、確認のため電子メールを使って購入内容を返信してもらうというシステムが利用されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記従来例に示すように、ギャンブル或いはくじ、懸賞応募として、スポーツなどの競技の勝敗を予想して投票するサービスシステムにおいては、競技やレースの最中に、競技やレースの状況の変化に応じて、自分の投票した内容と、競技やレースの経過を自動で照合して、利用者がリアルタイムに状況把握する手段は有していなかった。

【0006】また、上記従来例に示すようなショッピングなどの分野においては、電子メールを使って、購入内容を返信する手段を有するが、それは、ただ単純に購入内容の確認程度であり、返信されたデータを加工して2次利用するなどのために、返信された電子メールを用いてはいない。

【0007】本発明は上記課題に鑑みてなされたものであり、ギャンブル或いはくじ、懸賞応募として、スポーツなどの競技の勝敗を予想して投票するサービスシステムにおいて、リアルタイムに自動で自分の投票した内容と競技やレースの経過の照合を行い、利用者に告知する情報サービスシステムを提供することを目的とする。

【0008】さらに詳しくは、利用者がホームページなどの通信システムにて、自分の投票内容を記入し、サービスの運営者に送信した後、電子メールを用いて端末へ投票内容データを返信し記録させることで、そのデータを、利用者が自分が何を投票したのかを端末上で確認するために利用でき、さらに端末内で当たりかどうかの照合を自動で行うために、放送などで受信したスポーツの競技経過データと照合するデータとして利用する情報サービスシステムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明のうち請求項1記載の情報サービスシステムの発明は、通信端末装置と、該通信端末装置と少なくとも1つの通信手段により接続された情報処理センター装置とを具備し、前記通信端末装置の利用者が、前記情報処理センター装置に競技の勝敗の予想を投票する投票手段と、競技経過に応じて投票データと競技経過データを少なくとも1つの方法により比較する比較手段と、通信端末利用者が前記競技経過を好きなときに得ることができる出力表示手段を有することを特徴とする。

【0010】ここで、比較手段としては、情報処理センター装置で、投票手段による投票データと競技経過データとを比較手段により比較照合し、ホームページにより通信端末の出力表示手段に表示するか、または、情報処理センター装置で、投票手段による投票データと競技経過データとを比較手段により比較照合し、電子メールにより通信端末の出力表示手段に表示するか、または、データ放送による競技経過データを、通信端末の比較手段により投票手段による投票データと比較照合し、出力表示手段に表示するか少なくとも1つの手段を選択して、競技経過の出力表示を得ることを特徴とする。

【0011】本発明のうち請求項3記載の情報サービスシステムの発明は、前記情報処理センター装置側に、通信端末装置からの投票データおよび／または競技経過データを送受信するデータ送受信手段と、前記投票データを記憶する記憶手段と、競技経過データを記憶する記憶手段と、投票データと競技経過データとを比較照合するデータ比較手段と、該比較照合した結果を出力表示させるための出力表示データ作成手段と、前記出力表示データを記憶する記憶手段と、該出力表示データを通信端末に送信するためのメール送信手段とを具備し、前記通信端末装置側に、投票データを入力するデータ入力手段と、前記投票データおよび／または競技経過データを前記情報処理センター装置と送受信するデータ送受信手段と、前記情報処理センター装置から送信された出力表示データをメールにて受信するメール受信手段と、前記出力表示データを出力表示する出力表示手段とを具備することを特徴とする。

【0012】本発明のうち請求項4記載の情報サービスシステムの発明は、請求項3記載の情報処理センター装置側の出力表示データ作成手段および音の入力手段を具備し、絵、文字、音を用いて視覚的、聴覚的に出力表示し、通信端末装置側の出力表示手段は、絵、文字の再生および音の再生手段を具備したことを特徴とする。

【0013】本発明のうち請求項5記載の情報サービスシステムの発明は、請求項1記載の情報サービスシステムにおいて、前記情報処理センター装置側に、通信端末装置からの投票データおよび／または競技経過データを送受信するデータ送受信手段と、前記投票データを記憶する記憶手段と、競技経過データを記憶する記憶手段と、投票データと競技経過データとを比較照合するデータ比較手段と、該比較照合した結果を出力表示させるための出力表示データ作成手段と、前記出力表示データを記憶する記憶手段と、該出力表示データを通信端末に送信するためのメール送信手段とを具備し、前記通信端末装置側に、投票データを入力するデータ入力手段と、前記投票データおよび／または競技経過データを前記情報処理センター装置と送受信するデータ送受信手段と、前記情報処理センター装置から送信された出力表示データをメールにて受信するメール受信手段と、前記出力表示データを出力表示する出力表示手段とを具備することを特徴とする。

と、通信端末からの投票データを受信するための出力表示データ作成手段と、該出力表示データを記憶する記憶手段と、前記出力表示データを通信端末に送信するためのメール送信手段とを具備し、前記通信端末装置側に、投票データを入力するデータ入力手段と、前記投票データおよび／または競技経過データを前記情報処理センター装置と送受信するデータ送受信手段と、前記情報処理センター装置から送信された投票データをメールにて受信するメール受信手段と、前記投票データを記憶する記憶手段と、競技経過データを記憶する記憶手段と、投票データと競技経過データとを比較照合する比較手段と、前記出力表示データを出力表示する出力表示手段とを具備することを特徴とする。

【0014】本発明のうち請求項6記載の情報サービスシステムの発明は、請求項5記載の通信端末装置側の出力表示手段は、絵、文字の再生および音の再生手段を具備し、絵、文字、音を用いて視覚的、聴覚的に出力表示することを特徴とする。

【0015】本発明のうち請求項7記載の情報サービスプログラムを記録した記録媒体の発明は、情報サービスシステムを実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、競技の勝敗の予想を投票すると、競技経過に応じて投票データと競技経過データを比較手段し、通信端末利用者が前記競技経過を好きなときに表示として得ることができるような処理を実行させることを特徴とする。

【0016】

【発明の実施の形態】

＜実施形態1＞以下、数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるインターネット上のオンラインサービスを例に、本発明の実施の形態を説明する。

【0017】図1は本発明の実施形態を説明するための構成概略図である。まず、システム提供者により、数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるサービスを行うホームページを開設する。そのシステムは、インターネットなどの通信ネットワークに接続したコンピュータなどの情報処理センター装置10と、同じくインターネットなどの通信ネットワークに接続可能なパソコンなどの通信端末装置11にて構成される。但し、通信ネットワークに接続可能な通信端末装置はパソコンに限られないことは言うまでもなく、PHSやページャーなどの携帯端末なども用いることができ、通信ネットワークも、インターネットに限られないことも言うまでもない。

【0018】図2は、図1に示す情報処理センター装置10（以下、センターと略す）の一例を示す機能ブロック図である。通信制御装置20は、データ送受信部に

て、数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるサービスを行うホームページデータを受信し、投票データを記入して情報処理センター装置へ送信し、競技開始後に、利用者の投票データと競技経過データの比較結果を表示したホームページデータを受信し、電子メール受信部により前記比較結果を電子メールで受信するものである。

【0019】演算処理装置21は、データ比較部において、利用者の投票データと競技経過データを比較し、表示データ作成部により、その結果を例えば、ホームページの書式に従って作成するものである。記憶装置22は、利用者の投票データ記憶部、競技経過データ記憶部、および表示データ記憶部により数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるサービスを行うホームページ画面データ、及び比較結果のホームページ画面データを記憶するものである。入力装置23は、上記比較結果のホームページデータを構成する音や文字、絵などのデータを入力するものである。

【0020】図3は、図1に示す通信端末装置11（以下端末と略す）の一例を示す機能ブロック図である。通信制御装置30は、データ送受信部により数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるサービスを行うホームページデータを受信し、投票データを記入して情報処理センター装置へ送信し、競技開始後に、利用者の投票データと競技経過データの比較結果を表示したホームページデータを受信し、電子メール受信部により前記比較結果を電子メールで受信するものである。

【0021】入力装置31は、利用者が、例えば図9に示すような投票データを入力するものである。出力表示装置32は、上記通信制御装置より受信したホームページデータ、比較結果データをディスプレイに表示したり、音声により出力したりするためのものである。

【0022】図4は情報処理センター装置と通信端末装置の一連の処理方法を説明するためのフローチャートである。まず、センター10側で、センターにて数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるホームページを開設して、投票を募集する（ステップ1（以下、S1と略す））。

【0023】次に、端末11側が、そのホームページを受信して（S2）、サッカーの勝敗の予想をし、投票データを記入してセンターへ送信する（S3）。

【0024】センターはその投票データを受信し（S4）、投票データをメモリAに保存する（S5）。実際に競技が開始した後、ある競技でチームが得点を入れると、競技会場から送られてきた競技経過データを、センターが受信し（S6）、その競技経過データをメモリBに保存する（S7）。さらに、センター側にて、投票データAと競技経過データBを比較照合して、現在、利用者の予想投票が当たる方に近い、はずれる方に近い、或いはそのどちらでもないかを演算し（S8）、そ

に従って記述し保存する(S9)。

【0025】端末側がそのホームページを受信することで、利用者自身の投票内容が現在当たる方に近いかなどに近いかを確認できる(S10)。さらに、電子メールにて、さらに進んだ競技の結果を端末側に送信し(S11)、端末側がそれを受信することで、同じく競技の結果を確認できる(S12)。

【0026】全ての競技が終了する信号が受信されるまで、S6からS12までの処理を繰り返す(S13)。

【0027】図9は、図4のS10で端末側が受信するホームページの画面例を示しており、サッカーの競技の途中経過に基づき、利用者の予想が現在のところどれだけ当たっているかを、リアルタイムに確認できる。さらに、各競技の勝敗の途中経過が、自分の予想と現在当たっているかもしくははずれているかを異なるマークで表現することで、視覚的に、容易に当たり状況を把握可能とすることができる。

【0028】また、全部の競技について当たっている場合を100%とした場合の現在の当たっている確率を表示することにより、数値的にも当たり状況を把握でき、さらに当たっている確率が高いか低いかによって、異なる音声を自動再生するファイルを添付することで、聴覚的にも当たり状況を把握可能とすることができる。

【0029】＜実施形態2＞図5は本発明による第2の実施形態を説明するための構成概略図である。数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるサービスを行うホームページを開設して、インターネットなどの通信ネットワークに接続したコンピュータなどの情報処理センター装置50と、同じくインターネットに接続可能なパソコンなどの通信端末装置51、及びインターネットに接続しているデータ放送の放送設備52にて構成される。

【0030】但し、上記実施形態1と同様に、通信ネットワークに接続可能な通信端末装置はパソコンに限られないことは言うまでもない。また、通信ネットワークは、インターネットに限られないことも言うまでもない。

【0031】図6は情報処理センター装置50（以下、センターと略す）の一例を示す機能ブロック図である。通信制御装置60は、データ送受信部により、数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるサービスを行うホームページデータを送信し、利用者からの投票データを受信し、利用者へ電子メールにてその投票データを送信し、競技開始後に各地の競技経過データを受信し、電子メール送信部にてデータ放送設備に対してその競技経過データを送信するものである。

【0032】演算処理装置61は、表示データ作成部により、ホームページデータを作成するものである。記憶

せるサービスを行うホームページデータを記憶するものである。入力装置63は上記ホームページデータを構成する音や文字、絵などのデータを入力するものである。

【0033】図7は通信端末装置51（以下、端末と略す）の一例を示す機能ブロック図である。通信制御装置70は、数日後に行われる複数のサッカーの競技結果を予想して投票させるサービスを行うホームページデータを受信し、投票データを記入して情報処理センター装置へ送信し、センターから送られてくるその投票データを電子メールにて受信するものである。データ放送受信装置71は、競技開始後にデータ放送設備より送られてくる各地の競技経過データを受信するものである。

【0034】入力装置72は、利用者が投票データを入力するものである。記憶装置73は、上記通信制御装置より受信した投票データ、競技経過データを記憶するものである。演算処理装置74は、データ比較部により、投票データと競技経過データを比較、演算するものである。出力表示装置75は、上記通信制御装置より受信したホームページデータ、比較結果データをディスプレイに表示したり、音声により出力したりするためのものである。

【0035】図8はセンター50と端末51の一連の処理方法を説明するためのフローチャートである。図8に示すS20～S24までは、実施形態1に記載のステップS1～S5に示すものと同様の処理を行う。

【0036】次に、S24にて保存した投票データを、電子メールにて端末へ送信する(S25)。端末側がそれを受信し(S26)、メモリAに保存する(S27)。実際に競技が開始した後、ある競技でチームが得点を入れると、競技会場から送られてきた競技経過データを、センターが受信し(S28)、その競技経過データをメモリBに保存する(S29)。さらに、競技経過データを放送設備に対して端末に配信するよう送信処理をする(S30)。

【0037】データ放送設備にて配信された競技経過データを端末側が受信し(S31)、保存(B)に保存する(S32)。投票データAと競技経過データBを照合して、現在、投票が当たる方に近いかなどに近いか或いはそのどちらでもないかを演算する(S33)。次に、その結果を画面に出力することで、利用者は自分の投票内容が現在当たる方に近いかなどを確認できる(S34)。

【0038】全ての競技が終了する信号が受信されるまで、S28～S34の処理を繰り返す(S35)。

【0039】図9は、図8のS34での端末側が受信するホームページの画面例であり、サッカーの競技の途中経過に基づき、利用者の予想が現在のところどれだけ当たっているかなどの表示内容は実施形態1の記載と同様

【発明の効果】本発明によれば、利用者が投票した後、実際に競技やレースが始まってから、終了するまでの間、自分の投票した内容が現在当りに近いのかはずれに近いのかなどをその投票に関わるすべての競技やレースを実際に見ていなくても、一目瞭然に知ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】実施形態 1 の情報サービスシステムの具体的構成を示す構成概略図である。

【図 2】図 1 の情報処理センター装置の基本構成を示す機能ブロック図である。

【図 3】図 1 の通信端末装置の基本構成を示す機能ブロック図である。

【図 4】図 1 の情報処理センター装置と通信端末装置の処理方法を表すフローチャートである。

【図 5】実施形態 2 の情報サービスシステムの具体的構成を示す構成概略図である。

【図 6】図 5 の情報処理センター装置の基本構成を示す

機能ブロック図である。

【図 7】図 5 の通信端末装置の基本構成を示す機能ブロック図である。

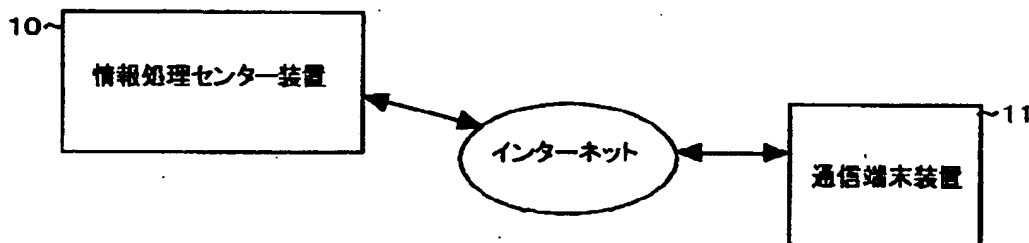
【図 8】図 5 の情報処理センター装置と通信端末装置の処理方法を表すフローチャートである。

【図 9】実施形態 1 または 2 における通信端末側の出力表示画面例を示す図である。

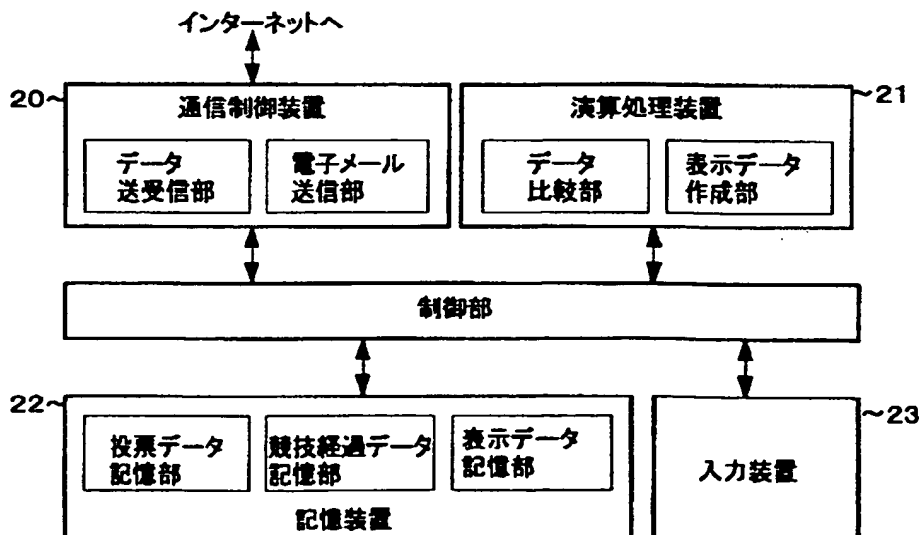
【符号の説明】

- 10、50 情報処理センター装置
- 11、51 通信端末装置
- 20、30、60、70 通信制御装置
- 21、61、74 演算処理装置
- 22、62、73 記憶装置
- 23、31、63、72 入力装置
- 32、75 出力表示装置
- 52 データ放送設備
- 71 データ放送受信装置

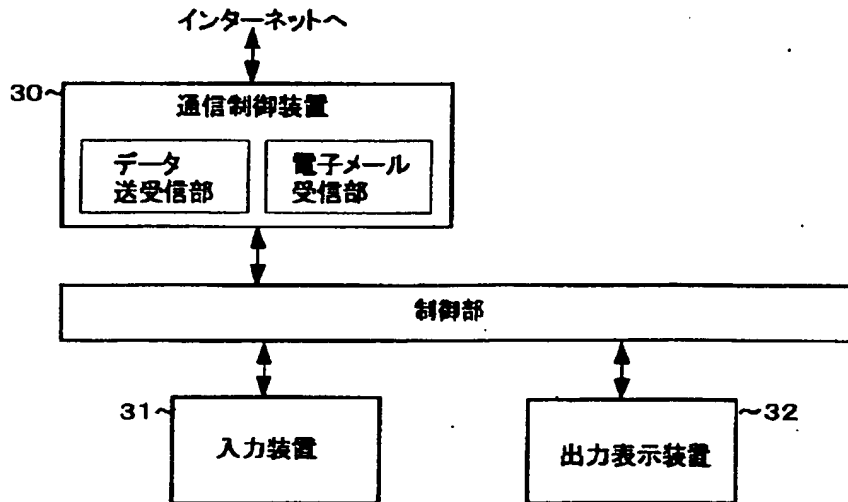
【図 1】



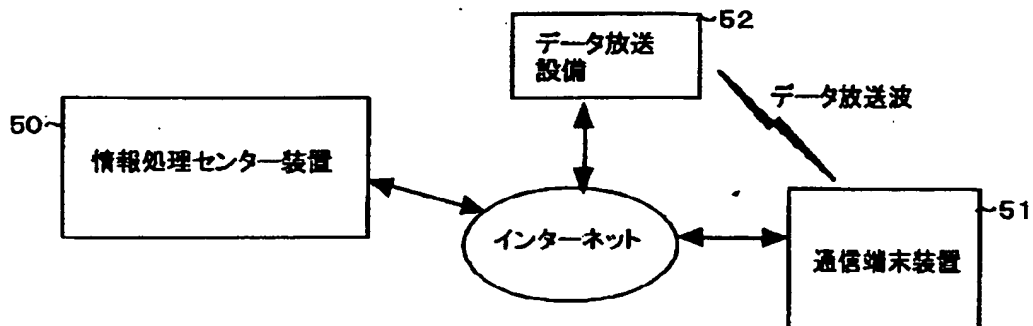
【図 2】



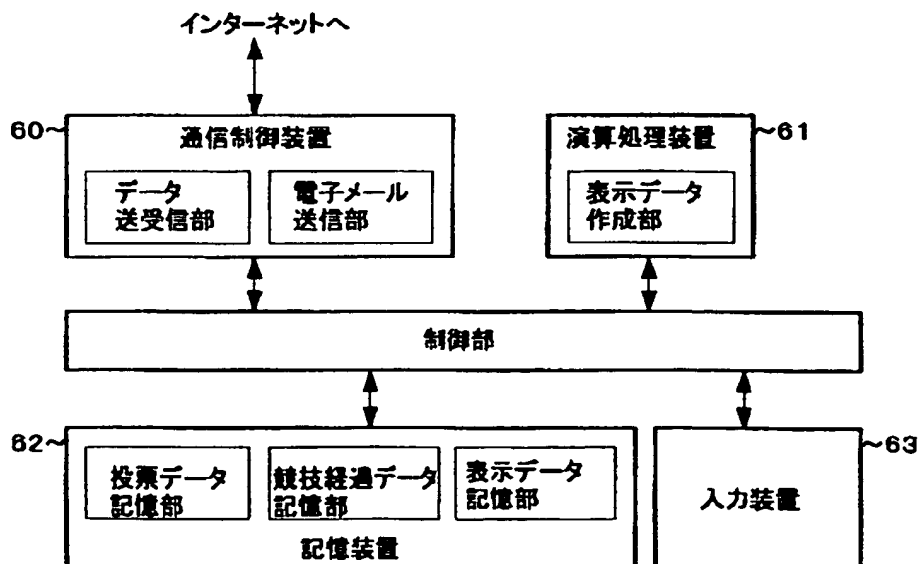
【図3】



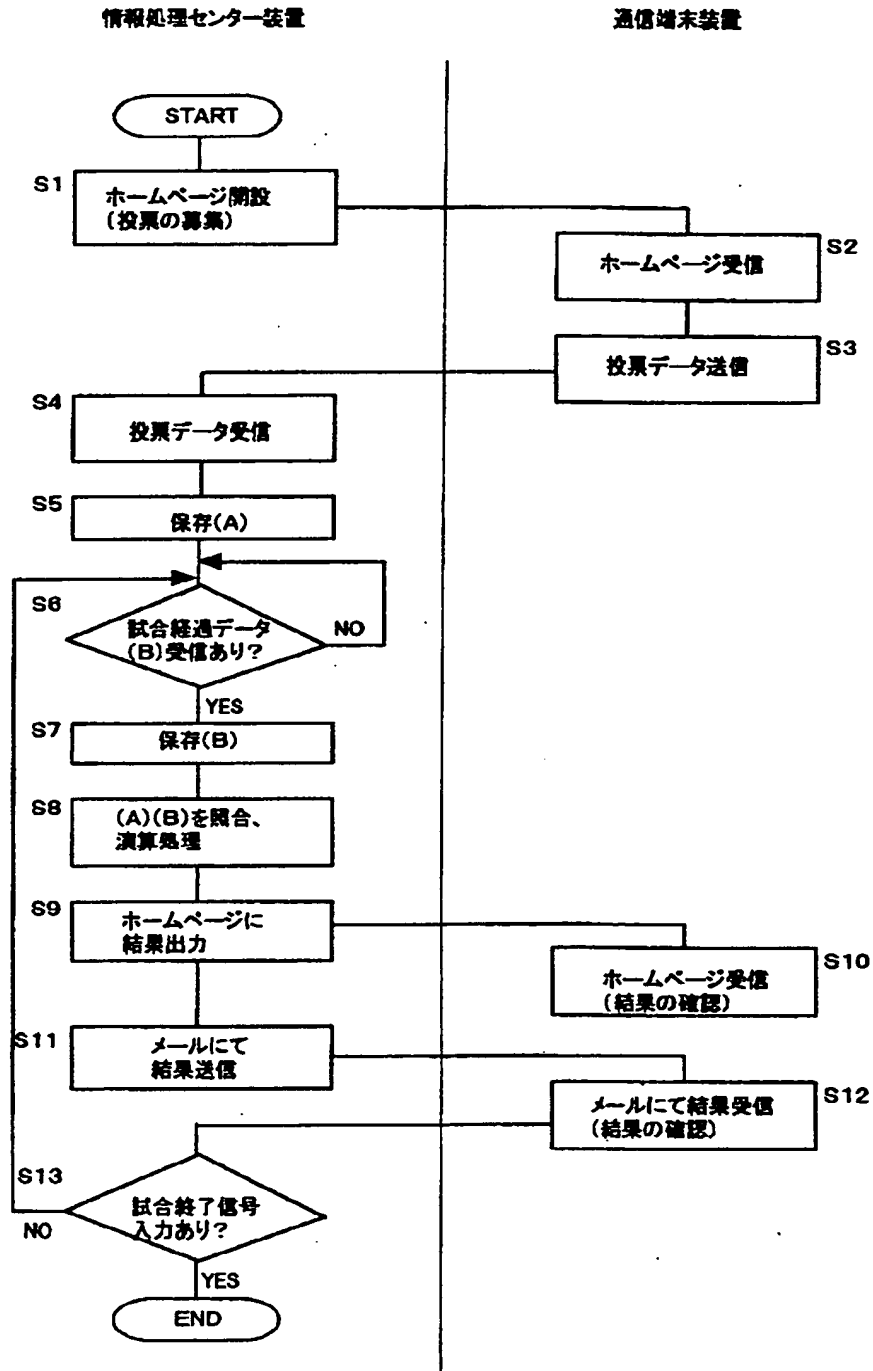
【図5】



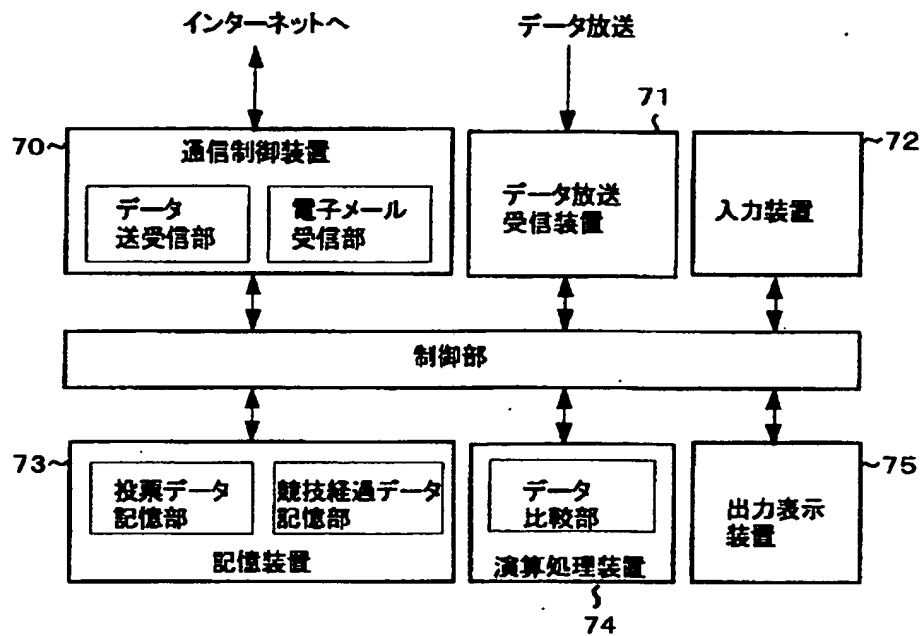
【図6】



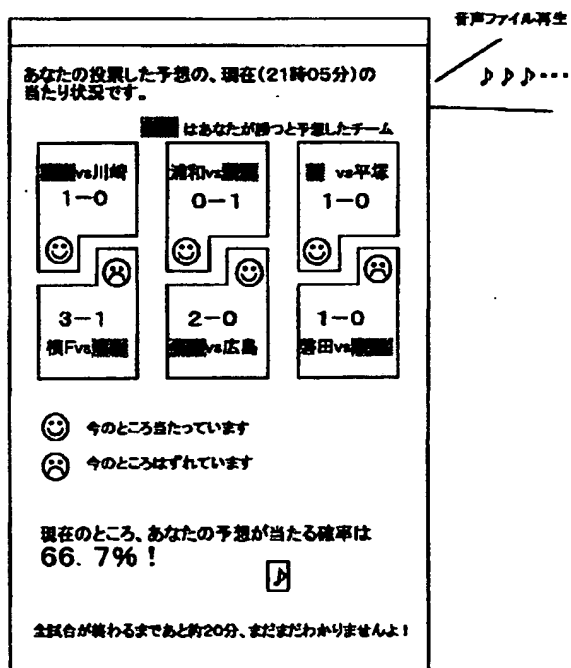
【図4】



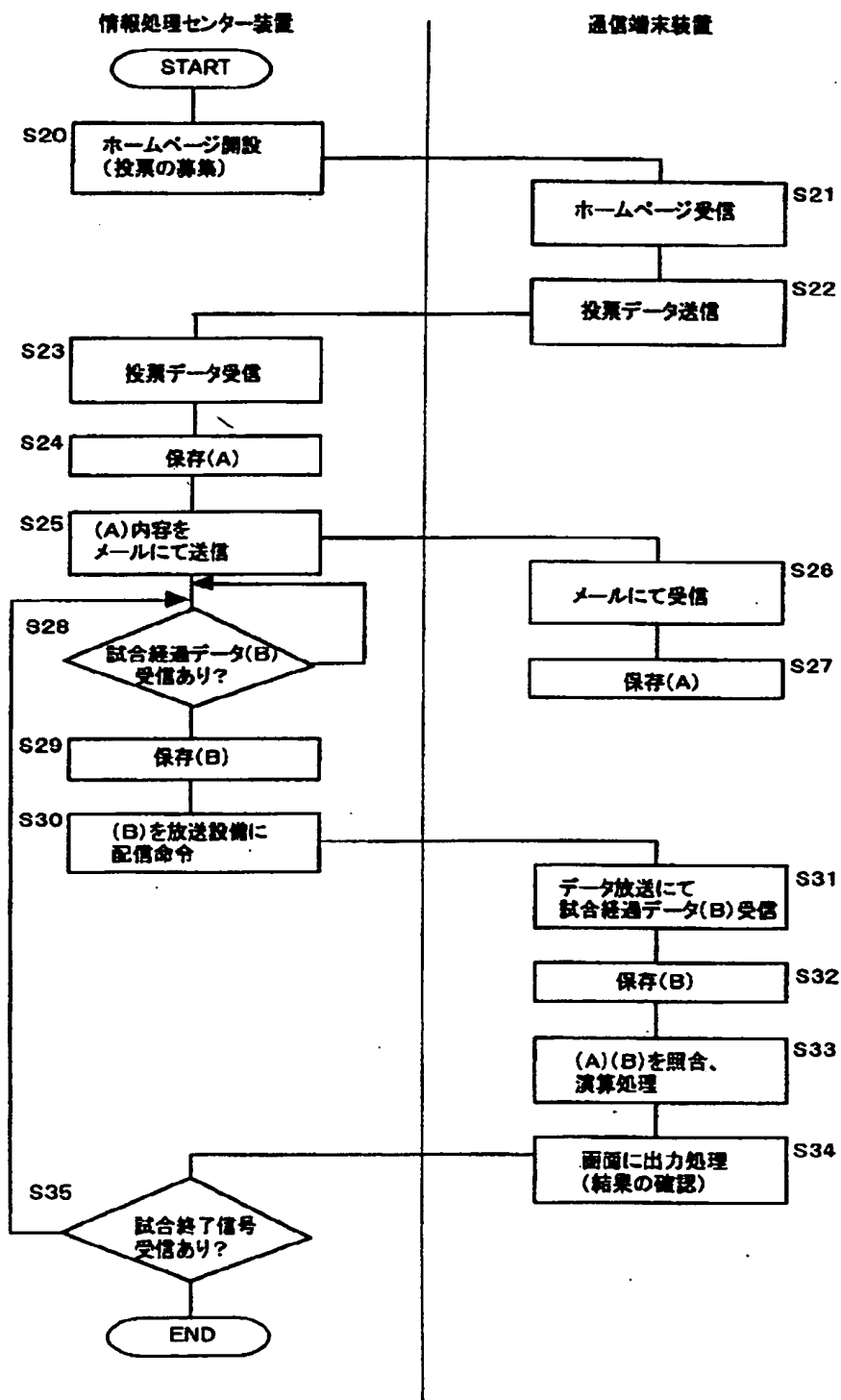
【図7】



【図9】



【図8】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.